

学習課題（小学校4年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜学習内容＞

◆じょうほう「考えと例」（教科書59ページ）に取り組みます。

- ①「アップとルーズで伝える」で学習したことを思い出しながら、教科書59ページを音読しましょう。

文章を読むときや話を聞くときには、どんな例があげられているかや、伝えたいこととどのようにおすびついているのかをおさえることが大切です。
（教科書59ページより）

- ②あなたが好きな遊びについて、ノートや取組シートにまとめましょう。右の書き方の例を参考にしましょう。

【書き方の例】

- (1) どんな遊びが好きか書きましょう。
 (2) 具体例と理由をそれぞれ書きましょう。
 ※二つ以上書いてもよいです。
 (3) (1)と(2)を見ながら、話をするように文章にまとめましょう。

例：わたしは、たくさんの友達といっしょにできる遊びが好きです。例えば、おにごっこです。みんなで一緒に走っていると、色んな人となかよくなれるからです。他にも…

例②	例①	好きな遊び
か る た 【理由】一枚でも多くかるたを取ろうと、友達と競うことができるから。	お に ご っ こ 【理由】多くの人と走って遊ぶことができ、色んな人となかよくなれるから。	友 達 と い っ し よ に で き る 遊 び

- ③あなたの好きな遊びについて、お家の人に話しましょう。

◆「つなぎ言葉のはたらきを知ろう」で学習する新出漢字（夫～競まで）をノートに練習します。（読み方や書き順は155ページにのっています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・②(1)の学習での『好きな遊び』は、「勝負がはっきりつく遊び」「部屋の中でする遊び」など、いくつかの遊びをまとめた言い方をするように声掛けをしてあげてください。
- ・③の学習では、お子さんの話を聞いた後に、「～だから、おにごっこが好きだったんだね。よく伝わったよ。」など感想を伝えると、『具体例を入れて話すと相手に伝わる』と学んだことを生活につなげるきっかけになります。

【社会】



<学習内容>

ことば(教科書 P63)

◆「水のふるさと」「ダムの働き」(教科書 60～63 ページ)や地図帳、持っている資料などをもとに、ダムの働きなどについて調べ、取組シートやノートに取り組もう。

(1) ダムの働きを調べ、2つの働きを取組シートやノートに書こう。
※教科書 62～63 ページを見てみよう。

(2) 札幌市の水道水のほとんどは豊平川の上流にある2つの大きなダムからきています。つぎの中から2つえらんでダムの名前を書きましょう。

豊平峡ダム

黒部ダム

定山渓ダム

ことば(教科書 P61)

(3) 水げんの森について調べ、下の()に言葉を入れよう。

・森林は()をたくわえてくれます。水げんの森を守るために、()を植えたり、()をしたりしています。

※教科書 61 ページを見てみよう。

◆中国地方にある県の名前と位置について、白地図を使ってまとめましょう。

(1) 地図帳 116 ページを見て、中国地方にある5つの県の名前を調べ、中国地方の白地図に県名を書きましょう。

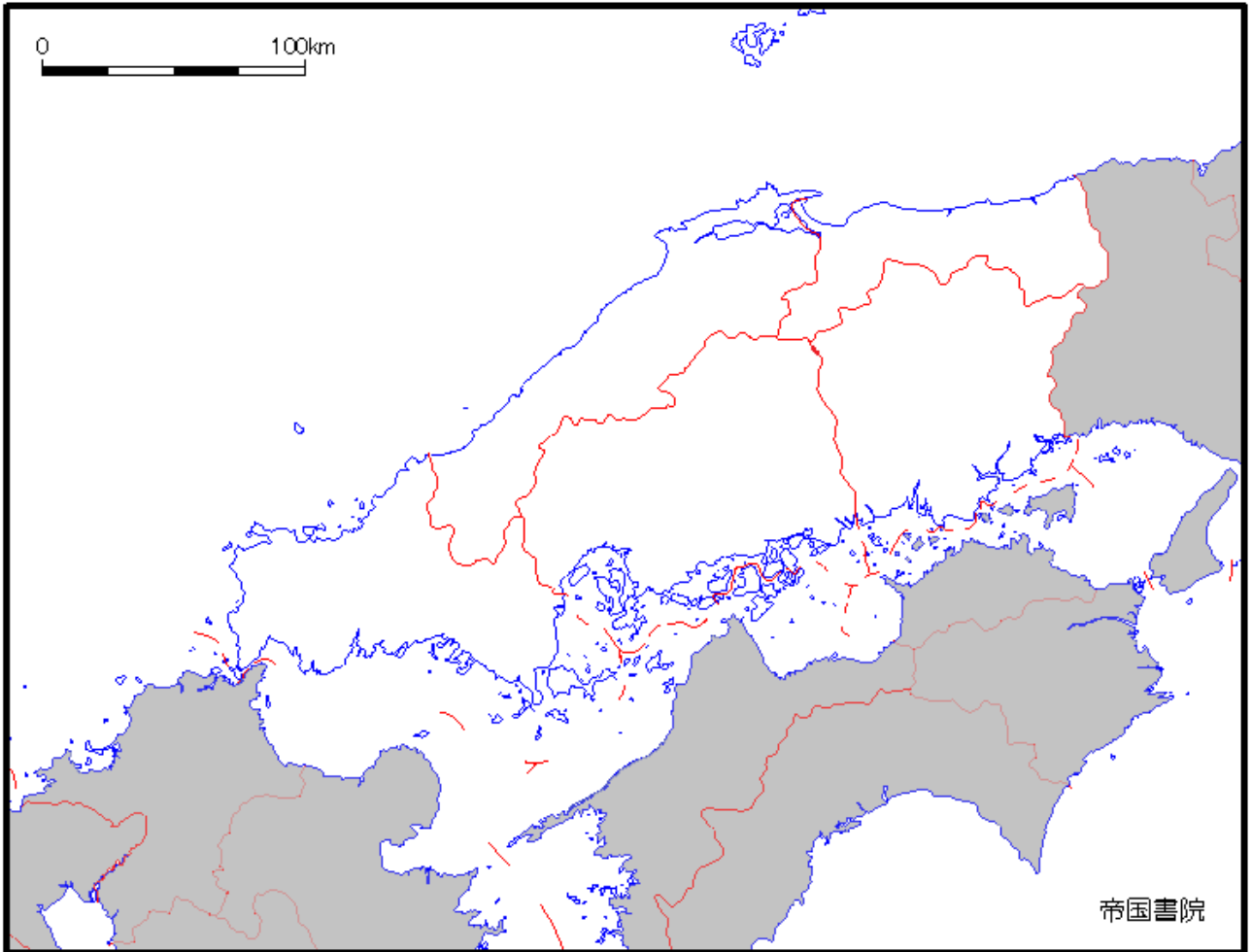
(2) 中国地方にある5つの県の位置をそれぞれ指でさしながら、県名を声に出して言ってみよう。何も見ないで、すべて言えるようになったらすばらしいです。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・ダムがなかったらどうなるのか考えると、ダムの働きや必要性について、自分に身近なこととして考えられるようになります。
- ・答えることができた県名が増えたなどの頑張りを認め、お子さんが継続して取り組もうという意欲につながる声かけをお願いします。

※地図帳のP115に、QRコードがついています。閲覧が可能であれば、こちらも御活用ください。

白地図（ちゅうごくちほう中国地方） 名前



【算数】

「※」は学習するときのヒントです。



＜学習内容＞

◆「わり算の筆算」（教科書 31～32 ページ）

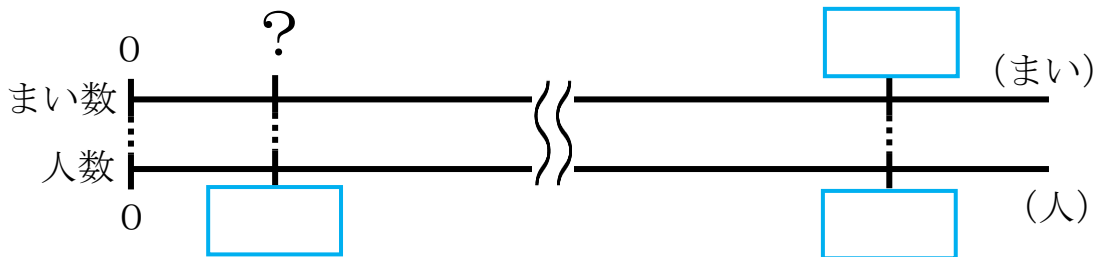
折り紙を3人で同じ数ずつ分けます。



(1) 600まいの折り紙を3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになるでしょうか。下の数直線に、赤ペンで数や矢じるしなどをかきわえて、どんな式になるか考えましょう。

※図を使うと、考えたり表したりする力が身につくよ。

※教科書 165 ページ「数直線のかき方」をさんこうにしてみてくださいね。

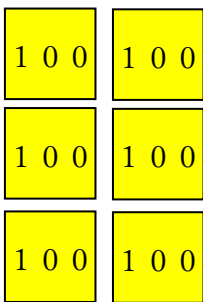


式

※わられる数が3けたになっても計算できるかな。



(2) 下の□の中に、図や言葉などを使って、式の答えを求めましょう。



※100のまとまりが6つ分と考えるといいね。



(3) 736まいの折り紙を3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになるでしょうか。

※(1)の問題文とどこが変わったのかがしてみよう。

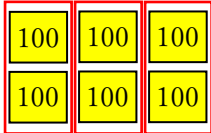
式

あれ？ 百の位が7になったよ。わられる数の十の位や一の位にも数があるね。わりきれのかな。

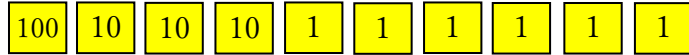


3けた÷1けたの計算で、100のまとまりだけでわれない時は、どうやって計算すればいいのかな？

(4) たかしさんが折り紙をわけています。残りの136まいを、どのよう
にわけたらよいか考え、□の中に言葉や図で書き表しましょう。



たかし



※100のまとまりが1つあまったよ。このままじゃわれないから…。

(5) マスや青四角の中に数を書いて、筆算と式を完成させましょう。

3	7	3	6

※まず、百の位に数をたてよう。

※かけて、100のまとまりが何こ分かを求めよう。

※7からひくよ。

※十の位の3をおろそう。

※あとは、十の位、一の位の順に、これまでと同じように計算しよう。

$$736 \div 3 = \boxed{} \text{あまり} \boxed{}$$

(6) 教科書 32 ページの 10 と 11 の問題に取り組み、ノートか取組シートに書きましょう。
※筆算を使って求めてみよう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆わり算の筆算（教科書 P31～32）

・「桁数が増えても、筆算の手順は変わらない」と、子ども自身で気付くことが大切です。
「もし、わられる数が4桁になっても計算できそう。」などと、数の範囲を広げて考える姿が見られたら、お子さんを褒めていただければと思います。

【理科】

＜学習内容＞

◆教科書「電流のはたらき」（教科書47～50ページ）を見て、直列つなぎとへい列つなぎで、モーターの回る速さがちがうのはなぜか考えてみましょう。

- ① かん電池2このつなぎ方によって、モーターの回る速さがちがうのはなぜか、予想とその理由を取組シートやノートに書きましょう。
※モーターの回る速さには何が関係しているのかな。
- ② かん電池2このつなぎ方によって、モーターの回る速さがちがうのはなぜか調べるために、かん電池の数やつなぎ方を変えて電流の大きさを調べる実験3（教科書49ページ）をすることにしました。
下の表は結果を記録するものです。取組シートやノートに表をうつして、実験結果（教科書50ページ）を見て記録しましょう。

かん電池	電流の大きさ (はりのさす目もり)	モーターの回る速さ
1こ		
2こ直列		
2こへい列		

- ③ かん電池2このつなぎ方によって、モーターの回る速さがちがうのはなぜか、実験結果から考えて、取組シートやノートに書きましょう。
※つなぎ方によって回る速さはどのようにちがうかな。
※つなぎ方によって電流はどう変わるかな。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School「電池のつなぎ方で電流は…」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301759_00000&p=box



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、乾電池2個のつなぎ方による、モーターの回る速さと回路に流れる電流の大きさとの関係に気付くことを大切にしています。
- ・「モーターが速く回るのは何つなぎかな。」「回路に流れる電流が大きいのは何つなぎかな。」「電流が大きいときにモーターの回る速さはどうなるのかな。」など、つなぎ方、電流の大きさ、モーターの回る速さの関係を考えられるよう声をかけてあげてください。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。道具をつかうときは、かたい物やわれる物はつかわず、安全におこないましょう。

＜べんきょうすること＞

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home_karada_.html



◆ 「動物歩き」に
取り組みましょう。

(1) ①くまあるき、
②アザラシあるき、
③うさぎとび、
④クモあるきに
チャレンジしてみ
ましょう。

(2) あるく速さや
回数、しせいなどを
変えてチャレンジし
てみましょう。

(3) ほかの姿勢も
考えて、チャレンジ
してみましょう。

① くまあるき ② アザラシあるき



ひざをゆがにつけないで
あるこう！



足はちからを
↓ぬいて

↑
手だけで
すすもう！

③ うさぎとび ④ クモあるき



↑
手をまえにつこう！



↑
おしりをあげよう

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。